

事務事業名		大船渡市産業まつり開催支援事業		<input type="checkbox"/> 実施計画掲載事業	<input type="checkbox"/> 総合戦略掲載事業																														
政策体系	政策名	0 1 豊かな市民生活を実現する産業の振興		事業期間																															
	施策名	0 3 にぎわいあふれる商業・観光の推進		区分																															
	基本事業名	0 4 特産品の販売力強化と販路拡大		単年度繰返																															
根拠法令		-		※期間欄に開始年度を記入																															
所属	部課名	商工港湾部観光交流推進室		【開始年度】																															
	課長名	森 正		昭和53 年度～																															
	係名	-		-																															
	担当者	佐々木 毬菜	電話	0192-27-3111	事務事業区分																														
			内線	160	D 補助金等																														
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)																															
<p>大船渡市産業まつりは、市内で生産された特産品や工業品等を公開展示・販売し、地場産品に対する理解を深め、需要を促すため、毎年10月下旬に市民体育館において開催してきた。令和4年度はおおふなと駅周辺地区を主会場として初めて屋外で開催した。</p> <p>実行委員会(委員長:大船渡市長 構成9団体)に委員及び事務局として参画するとともに、まつり開催経費として負担金を交付する。</p> <p>平成23年度～平成25年度は、出展事業者の大半が被災したことにより開催を見合わせてきたが、被災した出展事業者の復旧が進んだことや会場としていた市民体育館の災害復旧工事が完了したことを受け、平成26年度からは、復興に向けて歩みを進めている大船渡市の姿を市内外に広くPRすることを開催趣旨に加え、まつりを再開した。令和2・3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、中止。</p>				<table border="1"> <tr><td>総投入量(千円)</td><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>事業費</td><td>都道府県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>財源内訳</td><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>一般財源</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>事業費計(A)</td><td>0</td></tr> <tr><td>人件費</td><td>正規職員従事人数</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>延べ業務時間</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>人件費計(B)</td><td>0</td></tr> <tr><td></td><td>トータルコスト(A)+(B)</td><td>0</td></tr> </table>		総投入量(千円)	国庫支出金		事業費	都道府県支出金		財源内訳	地方債			その他			一般財源			事業費計(A)	0	人件費	正規職員従事人数			延べ業務時間			人件費計(B)	0		トータルコスト(A)+(B)	0
総投入量(千円)	国庫支出金																																		
事業費	都道府県支出金																																		
財源内訳	地方債																																		
	その他																																		
	一般財源																																		
	事業費計(A)	0																																	
人件費	正規職員従事人数																																		
	延べ業務時間																																		
	人件費計(B)	0																																	
	トータルコスト(A)+(B)	0																																	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)								
<p>前年度実績(前年度に行った主な活動)</p> <p>令和4年度は会場を大船渡駅前広場に変更して開催した。例年よりも2週間早く開催し、来場者は令和元年度より増加したが、出展事業者数は半減した。</p> <p>今年度計画(今年度に計画している主な活動)</p> <p>令和4年度と同様に10月上旬に大船渡駅前広場で開催する。</p>	<table border="1"> <thead> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>ア 産業まつり出展勧誘件数</td><td>件</td></tr> <tr><td>イ 会場内コーナー設置件数</td><td>件</td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td></tr> </tbody> </table>	名称	単位	ア 産業まつり出展勧誘件数	件	イ 会場内コーナー設置件数	件	ウ	
名称	単位								
ア 産業まつり出展勧誘件数	件								
イ 会場内コーナー設置件数	件								
ウ									
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)								
<p>直接対象</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大船渡市産業まつり実行委員会</li> </ul> <p>間接対象</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>産業まつり来場者</li> <li>市内特産品製造販売業者</li> </ul>	<table border="1"> <thead> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>カ 産業まつり来場者数</td><td>人</td></tr> <tr><td>キ 産業まつり出展業者数</td><td>業者</td></tr> <tr><td>ク</td><td></td></tr> </tbody> </table>	名称	単位	カ 産業まつり来場者数	人	キ 産業まつり出展業者数	業者	ク	
名称	単位								
カ 産業まつり来場者数	人								
キ 産業まつり出展業者数	業者								
ク									
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)								
<p>地場産品に対する理解を深めてもらい、需要を促す。</p>	<table border="1"> <thead> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>サ 産業まつり総売上金額</td><td>千円</td></tr> <tr><td>シ 産業まつり来場者数増減率</td><td>%</td></tr> <tr><td>ス 産業まつり出展者数増減率</td><td>%</td></tr> </tbody> </table>	名称	単位	サ 産業まつり総売上金額	千円	シ 産業まつり来場者数増減率	%	ス 産業まつり出展者数増減率	%
名称	単位								
サ 産業まつり総売上金額	千円								
シ 産業まつり来場者数増減率	%								
ス 産業まつり出展者数増減率	%								
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)									
<ul style="list-style-type: none"> <li>特産品をつくる。</li> <li>特産品を扱う。</li> </ul>									

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	単位	年度	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(目標)	6年度(目標)	7年度(目標)
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	0	0	3,500	2,900	2,900	2,900
	事業費計(A)	千円	0	0	3,500	2,900	2,900	2,900
	正規職員従事人数	人	1	1	2	2	2	2
	延べ業務時間	時間	100	150	400	400	400	400
	人件費計(B)	千円	400	600	1,600	1,600	1,600	1,600
	トータルコスト(A)+(B)	千円	400	600	5,100	4,500	4,500	4,500
⑤活動指標	ア	件	0	0	84	150	150	150
	イ	件	0	0	10	10	10	10
	ウ							
⑥対象指標	カ	人	0	0	28,000	30,000	32,000	34,000
	キ	業者	0	0	49	75	80	85
	ク							
⑦成果指標	サ	千円	0	0	4,394	6,200	6,400	6,600
	シ	%	0	0	112	107	107	106
	ス	%	0	0	52	153	107	106

事務事業ID	0436	事務事業名	大船渡市産業まつり開催支援事業
--------	------	-------	-----------------

<b>(3) 事務事業の環境変化・住民意見等</b>	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	地場産品に対する市民の理解と需要拡大に努め、生産者間で相互に意識の高揚を促すための機会がなかったため、昭和53年度から、関係機関、商工団体及び各種団体で構成する実行委員会を組織し、多種多様な地場産品を一同に集めてPRする場として「産業まつり」を実施することとした。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	・食料品事情においては、各地で地産地消運動が活発化しており、地元の安心・安全な食材を地元で消費する様々な取組(総合スーパー等と提携し地元食材を販売、公的施設等への食材供給、産直施設・産直レストラン等を活用した販売営業)が進められてきており、消費者側においても食生活に安全な地元食材を用いるといった意識が以前に比べ強まってきた。 ・新型コロナウイルス感染症対策及び中心市街地への来客誘導の観点から、会場を大船渡駅周辺地区に変更し開催した。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	来場者アンケートには、毎年楽しみにしている、来年もまた来場したいといった声が多数寄せられている。

2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <b>▽ 理由・内容</b> この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつかか？意図することが結果に結びついているか？ 特産品を宣伝することは、市の物産の販売促進に結びつく。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <b>▽ 理由・内容</b> なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 地場産品のPR及び販路拡大については、消費者ニーズに合った競争力のある特産品の需要拡大を推進するため、関係機関・団体と連携し、物産展の開催等様々な手法を活用し取り組む必要がある。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である <b>▽ 理由・内容</b> 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 産業まつりの開催は、来場者・販売業者に地場産品の普及に対する意識を高めることとなり、まつりを開催する実行委員会への支援という対象・意図は妥当である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない <b>▽ 理由・内容</b> 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 時期的に近隣市町で同様のまつりが実施されるほか、市内小学校の学習発表会や市内中学校の文化祭が同時期に開催されているため、来場者数が伸び悩む傾向がある。イベント内容の趣向を凝らしたり、イベント周知をより効果的に行う等の向上余地はある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <b>▽ 理由・内容</b> 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 事業を廃止した場合、商工業・水産業・農林業等様々な分野の地場産品を一室に宣伝する機会がなくなるため、地場産品に対する普及意識が低下し、地場産品の販売促進に支障を来すことに繋がる。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <b>▽ 理由・内容</b> 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 事業費を削減した場合、イベントの事業規模を縮小することになり、人員や広告宣伝内容の削減等を含め、まつりの運営全般について簡素化する必要が生じる。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <b>▽ 理由・内容</b> やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) 実行委員会事務局を商工団体等に移管する方法が考えられるが、環境や条件、人員体制等が整わなければ移管することはできないため長期に渡って検討を要する。業務は主担当1名の他、室職員の助勤体制で対応しているため、削減余地はない。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <b>▽ 理由・内容</b> 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 実行委員会では、まつり開催運営にあたり、市以外にも構成団体である商工団体や農林漁業団体から負担金を徴し、また、出展業者からは出展小間数に応じた出展料を徴して運営経費に充てていることから、事業に関する公平性は保たれている。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果	(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																		
2 改革改善(縮小・統合含む)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上		●	維持		×	低下	×	×	開催年度に入ってからの実行委員会により決定していた産業まつり日程を、令和元年度からは前年度に決定して公表することでまつり宣伝活動の初動を早めたが、令和2年度及び令和3年度はまつり中止に伴いまつり後の実行委員会を開催できず、年度中の翌年度日程決定を行うことができなかった。
	コスト																			
	削減	維持	増加																	
成果	向上		●																	
	維持		×																	
	低下	×	×																	
※(1)改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入。 (現状維持の場合、コスト及び成果は「維持」) (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																				

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
2 改革改善(縮小・統合含む)	・産業まつりの開催にあたっては、これまでの開催内容を総括し検証する。 ・特産品の販売を行うとともに、市内産業界で進められている産業全体の先進的取組を市民に紹介するなど、「産業」の名にふさわしい「まつり」にしていく。